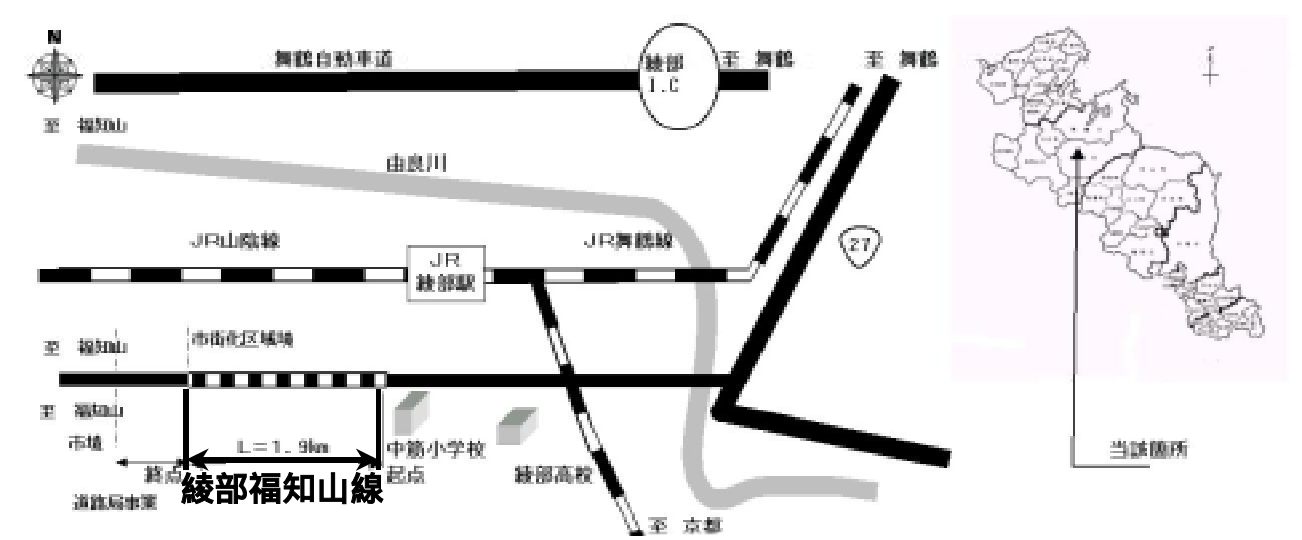


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：斉藤 親

事業名 あやべふくちやません 綾部福知山線	事業区分 街路	事業主体 京都府
起終点 起点：京都府綾部市字二反田 終点：京都府高津町藤ノ木	延長 1.9 km	
事業概要 本路線は、福知山市と綾部市を結ぶ、通学路、バス路線にも指定されている重要な幹線道路である。また、沿道には商店が建ち並び歩行者の往来も多く交通の安全確保を懸念されている箇所である。本路線を整備することにより、綾部市街地内の交通を円滑にし、良好な市街地を形成するとともに、歩行者の安全確保を図るものである。		
H元年度事業化	S54年度都市計画決定 (S60年度変更)	S57年度用地着手 H5年度工事着手
全体事業費	35億円	事業進捗率 : 80% 供用済延長 : 1.4 km
計画交通量	14,300台/日	
費用便益分析結果	B/C : (事業全体)1.6 (残事業)	総費用 : (残事業)/(事業全体) /45億円 事業費 : /42.8億円 維持管理費 : /1.9億円
	総便益 : (残事業)/(事業全体) /71億円 走行時間短縮便益 : /66.6億円 走行費用減少便益 : /3.6億円 交通事故減少便益 : /0.5億円	基準年 : 平成15年
事業の効果等 ・交通混雑の緩和 ・良好な都市空間の形成		
関係する地方公共団体等の意見 綾部福知山線は、地元の綾部市から整備促進の要望がある。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 交通量については減少しているが、まだ多い状態である。(綾部市の人口推移 S60国勢調査 40,595人 H12国勢調査 38,881人、交通量の推移 S60 16,704台/12h H11 13,009台/12h)		
事業の進捗状況、残事業の内容等 府道綾部大江宮津線に西側からの1.4 kmについては、平成14年度供用済み。残る0.5 kmについては平成14年度に事業認可を得て鋭意の進捗を図っているところである。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業用地買収において、買収後の残った土地形状が悪かったため、隣接地権者との調整や代替地の確保等地元の協力を得ながら進めていたため、交渉に時間を要した。		
施設の構造や工法の変更等 建設発生土の他事業への流用やコンクリート2次製品の積極的な使用によりコスト縮減を図る。		
対応方針 : 事業継続		
対応方針決定の理由 : 本路線は綾部市内の交通を円滑に処理し、良好な市街地を形成するとともに、福知山市とを結ぶ重要な幹線道路であり、総合的に判断して引き続き事業の進捗を図る。		
事業概要図		
		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。